

町名表示装置

中部電力(株)においては、襲雷時の巡視後送電の本格実施にともない、停電時には、各需要家からの電話による問い合わせが殺倒し、営業窓口における応待は、多忙を極めており、これに対して、従来の対応としては、故障発生都度の配電情報をもとに、停電町名を手書きし、貼出すなどし、対応を行っているが、昨今、電気への依存度が高いため、問い合わせに対する対応は、一層きびしさを増し、正確で、迅速な情報を提供する必要があります。また、このことが需要家サービスの向上につながる事となるため、停電及びその復旧の状況を町名単位で表示し、需要家からの問い合わせに出来るだけ的確に答えたいとの強い要求があり、その対策の一環として本装置の開発を行った。

●装置の構成

本装置の構成としては、

- ① 町名表示盤
- ② 表示制御盤
- ③ 制御盤
- ④ 操作卓
- ⑤ 作業票プリンタ
- ⑥ リストプリンタ

といった装置からなり、機能的には、工事停電表示機能、故障停電表示機能、作業票プリント機能などがあり特に、故障停電時の情報等は、配電指令室に設置された遠隔監視制御装置(営TC)のリモートタイプライタ(RTW)情報により自動判別する事を基本としている。

●機能概要

① 町名表示盤

町名表示盤は、40mm×120mmのLEDユニットを、1町名表示の基本ユニットとして組み上げられており、見出し部分を含めて、468町名分の表示ユニットをもっている。

また、それらの各町名ユニットの横には、赤・緑の2つのLEDが配置され、故障停電発生後、1時間以上2時間以内は緑色、2時間以上は赤色のLED点灯を行い、経過時間を表示する。

② 表示制御盤

表示制御盤は、町名表示盤の表示点灯のコントロール

を行うための盤で、停電時のチャイム鳴動、フリッカ点滅、ランプテストなどの機能を持っている。

③ 制御盤

制御盤は、本装置の制御の中心をなす装置で、構成は、大別してデータ受信部とデータ処理部の2つからなっている。

データ受信部は、上位の制御所からの配電線故障情報をDEM基板を介して、装置内へ取込む機能を持ち、データ処理部は、データ受信部により、取込まれた情報を解析し、各表示データに変換する処理を行う。

④ 操作卓

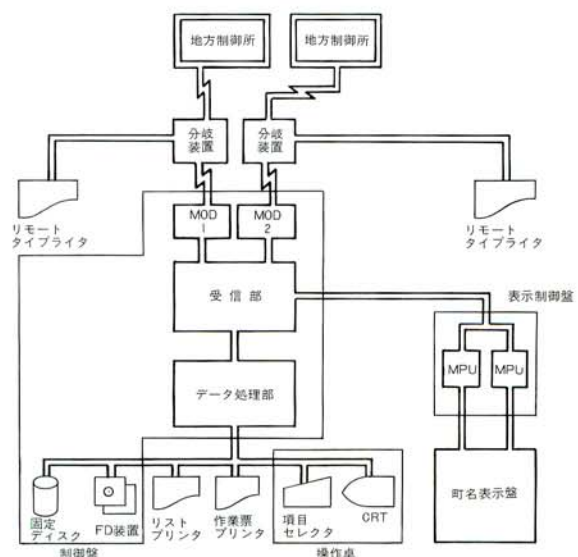
操作卓は、本装置のマンマシン処理の中心をなす装置で、CRT画面とブック式項目セレクトと呼ばれる多項目入力キーボードにより構成され、町名登録、SI分岐登録をはじめとする基礎データ登録や、工事停電予約等の工事情報入力、停電情報の手動補正機能などを持っている。

⑤ 作業票プリンタ

作業票プリンタは、RTWからの配電線故障情報の解析結果に従い、配電線復旧時の作業指示票を自動的に作成する事により、配電作業の迅速化の一助となる。

⑥ リストプリンタ

リストプリンタは、装置登録データ等のリスト作成用のプリンタで、基礎データ等の確認に使用する。



システム構成図